

磐城日報

平市白銀町十
發行所磐城日報社
編集發行人深澤幸夫
印刷人丸山徳平
毎週水曜日休刊
一ヶ月三十四部
勝讀料一四

衣料切符は
扱大切に
市富局から注意
切符は六月以降は再び使用
する事になるから大切に取扱うよう注意を促して

各地とも人出は閑散

徒ら天氣に櫻もなげく

○天気がよくそして風で
も吹かないから……
よう十五日の平の人出は
相當なものであつたろう
に、あいにくしての悪天
候これが市民が待望し
また参加者も少なからず
張切つて「假裝行列」は
誠にさむくとした行列
に終つてしまつた。
○また内郷・湯本の炭礦
街も常磐礦のヤマの祭典
執行で例年ならゴツタ返

○松ヶ岡公園の櫻も氣狂
い陽氣の訪ねにはいさき
かしほれおり早いところは風の爲に無理に散ら
されたのもあつて花に風
をなげていた。

流れで年に一度のお祭り
氣分を満喫している。
○松ヶ岡公園の櫻も氣狂
い陽氣の訪ねにはいさき
かしほれおり早いところは風の爲に無理に散ら
されたのもあつて花に風
をなげていた。

「縁の羽根」が金順調

内郷など今一息で完遂

目下各中、高學生の協力の

○草野九八、大浦七
○、四倉九〇、大野一〇
○、上小川下小川五〇、
川前四〇、植田五〇、
今十五日現在の實績を見る

と(数字は一セント)

もとに行はれつゝある縁の

合せを行なうが募金の郡の割

鎌田部落反対運動

分村覺悟で市に合併希望
神谷村大字鎌田部落では平市と合併する事が通學をはじめ總ての点に有利なところから同村の合併反対とは別な意味で反対の「反対を叫んで来たが、いよいよ分村覺悟で十四日から合併に對する全部落民の署名運動を開始した」

三十五台

元配給公團の二階から

市内堂根町にある元配給公團常磐支團の清算事務所で

去る八日から十一日の朝迄

に設ける

平信組總代選舉
市を十三區に分けて總代の小名瀬町字高山水素社員吉選舉を行うが投票場は各區田耕平さん(ちは十四日朝に設ける

十五日付いわき民報の論壇で田原登君は「市署長の更迭と鈴木市政」と題して述文を掲載しているが、鈴木市政しか論じられてゐるのだから實にふん飯に堪へない。本田市署長の郡山行きが假りに實現するとなれば平より大

く寒心するが、それも近視眼的ヤブにらみと来ているのだから實にふん市署長も好骨漢なら市長も好骨筋だ。政黨支部の

『民報』に義憤を感じず

一市民 (授)

十五日付いわき民報の論壇で田原登君は「市署長の更迭と鈴木市政」と題して述文を掲載しているが、鈴木市政しか論じられてゐるのだから實にふん飯に堪へない。本田市署長の郡山行きが假りに實現するとなれば平より大

く寒心するが、それも近視眼的ヤブにらみと来ているのだから實にふん市署長も好骨漢なら市長も好骨筋だ。政黨支部の

海岸で服毒
海岸で服毒自殺した

平市内の主食 集荷登録店

自由競争への前ぶれと見られた

算器五台價格十五万圓相當される主食の集荷登録は各地が何者かにガラス窓を破られ、誰も業者と農協組との間で發見平市署に届出たが勝手市では次の二業者が決定している。

菅本武雄、吉田寅太郎



釜屋

横山商店
電九四

ゴム類専門

平市三丁目

十日大麥十俵をヤミ値で取扱えられ

○(茨城)東茨城郡下大野

(三)はこの程水戸市五町

目精米業遠藤孝蔵さんか

ら大麥十俵をヤミ値で取扱えられ

○(茨城)東茨城郡下大野